



# マナーを守って未来に遺そう!

## 野幌道立自然公園



### 森の生き物はとらない

森のなかでは、自然の姿を見て楽しみましょう。山菜採りや盗掘によって、すっかり減ってしまった植物もあります。植物の採取は基本的に禁止されています。



### 生き物を捨てない・持ち込まない

公園内に植物を移植したりタネをまいたり、飼えなくなった動物を捨てたりすると、本来の自然を壊します。



### 車やオートバイで乗り入れない

車やオートバイの遊歩道への乗り入れは危険なので禁止です。



### 火をつかわない

公園内は禁煙です。また、火気の使用は禁止されています。森林火災の予防に努めましょう。

### この森は自然公園です

静的休養と教化の場として整備し、散策・休養・鑑賞・思索・自然探勝などの利用とあわせて愛林思想の普及を目的に作られたところです。自然を楽しんでいる方の迷惑にならないように気をつけあいましょう。



### 遊歩道はずれない

遊歩道の両側は野生動植物の領域です。森の中を踏み荒らしてしまわないよう、遊歩道を歩くようにして下さい。



### ゴミは捨てない

森の景観を壊したり、動物たちをひき寄せたりしないために、ゴミは必ず持ち帰りましょう。不用品・廃棄物を捨てる行為は違法なので罰せられます。

### 森の動物をおどかさない



写真撮影に夢中になって動物に近づいたり、エサを与えたりすると、動物にストレスを与えるだけでなく、生活をゆがめてしまいます。

3～6月は多くの野鳥たちの繁殖期なので、特に気配りが必要です。

### ペットの連れ込みはしない



ペットの連れ込みは他のひとに迷惑をかけます。また、ダニが付くなどペットにも負荷をかけるのでやめましょう。記念施設地区への犬の連れ込みは原則禁止です。(盲導犬は除かれます。)

### 無駄なアイドリングをしない



駐車するときはエンジンを止め、排ガスを減らし、地球温暖化防止に努めましょう。

(記念施設地区とは「百年記念広場区」「開拓の村区」「休養園地区」です。)



開発が進んだ石狩平野に原始の面影を持ちながら小さな島のように残っているのが野幌の森です。この森を守る市民運動の歴史は古く、明治32年(1899年)北越殖民社関矢孫左衛門氏他の活躍にまでさかのぼります。昭和43年(1968年)4月、この森は道立自然公園 野幌森林公園に指定されました。札幌・江別・北広島にまたがり、なだらかな野幌丘陵に広がる森林です。面積は天然林を中心とした2,053haで、天然記念物クマゲラを始め希少な植物など豊かな野生生物が見られ、生物多様性の宝庫ともいえる森となっています。

このような大都市近郊の平地林は国内にも世界的にも例の少ない貴重な森で、次の世代に引き継ぐべき世界に誇る自然遺産です。



### 野幌森林公園へのアクセス (公共交通機関を利用)

- ① JR函館本線森林公園駅下車(記念塔口まで約1km)
- ② JR函館本線大森駅南口下車(大沢口まで約2km)
  - JR北海道バス『文京台循環線』乗車 文京台南町下車(大沢口まで約600m)
- ③ JR千歳線新札幌駅又は地下鉄東西線新さっぽろ駅下車
  - JR北海道バス 新札幌バスターミナル北レーン10番乗車  
『開拓の村行き』乗車 野幌森林公園・北海道博物館・北海道開拓の村停車  
『文京台循環線』乗車 厚別東小学校前下車(記念塔口まで約600m)  
文京台南町下車(大沢口まで約600m)
  - 中央バス 新札幌バスターミナル南レーン5番乗車  
『小野幌線・もみじ台団地線』もみじ台北3丁目下車(瑞穂口まで1km)
  - 夕鉄バス 新札幌バスターミナル南レーン9番乗車  
『文教通西行』大沢公園入口下車(大沢口まで約450m)
- ④ JR北海道バス大谷地ターミナル『北広島線・長沼線・南幌線』
  - 楸山下車(トド山口まで2.1km)
- ⑤ 江別・野幌駅方面からは
  - JR北海道バス『[江92] 共栄線』野幌駅北口乗車  
登満別下車(登満別口まで約1.6km 本数が少ないので注意)

